

IoT実装関連の動向等

【回答自治体：長崎県】

事業名	長崎県 IoT 推進ラボ 事業化支援			
実施期間	H29年度～			
概要	○事業化支援進行中のプロジェクトは、生産管理システムIoT化・農業制御IoT・介護支援IoTシステムの3つ。下表参照			
		案件名	分野	内容
	1	生産管理システムIoT化	製造業	既存の生産管理システムに対し、現実世界の実績値をセンシング、自動取得することによる、生産工程の見える化を行う。
	2	農業制御IoT	農業	農業ハウスのデータ取得を行う既存パッケージを活用し、制御部分の新規開発による、新パッケージ開発を目指す。
3	介護支援IoTシステム	サービス業 (介護)	当初自社向けを意図して開発した介護見守りIoTシステムを外販をしていくユースケースとして、拡販における課題の整理と支援。	

IoT実装関連の動向等

【回答自治体：長崎県】

事業名	成長分野を支える情報通信技術人材の育成拠点の形成（enPit-Pro）		
実施期間	H29～H33年度（文部科学省公募事業）		
概要	<p>○情報セキュリティのプロ人材を育成するため、社会人の学びなおし（大学修士課程レベル）のプログラムを作成し、講座の実施する。</p> <p>○長崎県立大学の講座例：セキュリティ対策実践コース、セキュリティ開発者向けコース 短期セキュリティ対策コース</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="504 614 694 726">大学名</td> <td data-bbox="694 614 1982 726">◎情報セキュリティ大学院大学、東北大学、大阪大学、和歌山大学、九州大学、長崎県立大学、慶應義塾大学（計7校の共同申請、◎は申請代表校）</td> </tr> </table>	大学名	◎情報セキュリティ大学院大学、東北大学、大阪大学、和歌山大学、九州大学、長崎県立大学、慶應義塾大学（計7校の共同申請、◎は申請代表校）
	大学名	◎情報セキュリティ大学院大学、東北大学、大阪大学、和歌山大学、九州大学、長崎県立大学、慶應義塾大学（計7校の共同申請、◎は申請代表校）	
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="504 726 694 837">取組名称 (仮称)</td> <td data-bbox="694 726 1982 837">企業・官公庁等のIT実務、OT実務、設計・製造実務における情報セキュリティに関わるプロ人材育成コースの開発・実施</td> </tr> </table>	取組名称 (仮称)	企業・官公庁等のIT実務、OT実務、設計・製造実務における情報セキュリティに関わるプロ人材育成コースの開発・実施
取組名称 (仮称)	企業・官公庁等のIT実務、OT実務、設計・製造実務における情報セキュリティに関わるプロ人材育成コースの開発・実施		
<table border="1"> <tr> <td data-bbox="504 837 694 1382">取組概要</td> <td data-bbox="694 837 1982 1382"> <p>情報セキュリティ大学院大学が連携大学院6校と文部科学省「情報セキュリティ人材育成に関する調査研究」で提唱されたモデル・コア・カリキュラムに基づき、社会人の学び直しを支援する高等教育の体制を整え、全産業分野の実務現場でリーダーを担う情報セキュリティ人材を育成する。履修証明/BP認定も可能な120時間超の教育を実施するメインコースを主軸に、最新・専門的な演習・講義だけを抜粋したクイックコースを加えた二種類のコースを提供する。全国に会員企業を有する日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）、サイバーリスク情報センター（CRIC）との連携、および共同申請校が地域の団体/官庁/企業と連携して産業ニーズに即したコース開発と受講生の募集を行う。コース修了者には履修証明の授与を検討することに加えて、連携大学で統一されたProSec-X（Xは実務領域の名称）認定証を授与する。人材スキルマップを活用して、実務領域に求められる知識をコースに反映する仕組みや、e-Learning（JM00C/gacco等）を開発して事前学習の環境を整える。</p> </td> </tr> </table>	取組概要	<p>情報セキュリティ大学院大学が連携大学院6校と文部科学省「情報セキュリティ人材育成に関する調査研究」で提唱されたモデル・コア・カリキュラムに基づき、社会人の学び直しを支援する高等教育の体制を整え、全産業分野の実務現場でリーダーを担う情報セキュリティ人材を育成する。履修証明/BP認定も可能な120時間超の教育を実施するメインコースを主軸に、最新・専門的な演習・講義だけを抜粋したクイックコースを加えた二種類のコースを提供する。全国に会員企業を有する日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）、サイバーリスク情報センター（CRIC）との連携、および共同申請校が地域の団体/官庁/企業と連携して産業ニーズに即したコース開発と受講生の募集を行う。コース修了者には履修証明の授与を検討することに加えて、連携大学で統一されたProSec-X（Xは実務領域の名称）認定証を授与する。人材スキルマップを活用して、実務領域に求められる知識をコースに反映する仕組みや、e-Learning（JM00C/gacco等）を開発して事前学習の環境を整える。</p>	
取組概要	<p>情報セキュリティ大学院大学が連携大学院6校と文部科学省「情報セキュリティ人材育成に関する調査研究」で提唱されたモデル・コア・カリキュラムに基づき、社会人の学び直しを支援する高等教育の体制を整え、全産業分野の実務現場でリーダーを担う情報セキュリティ人材を育成する。履修証明/BP認定も可能な120時間超の教育を実施するメインコースを主軸に、最新・専門的な演習・講義だけを抜粋したクイックコースを加えた二種類のコースを提供する。全国に会員企業を有する日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）、サイバーリスク情報センター（CRIC）との連携、および共同申請校が地域の団体/官庁/企業と連携して産業ニーズに即したコース開発と受講生の募集を行う。コース修了者には履修証明の授与を検討することに加えて、連携大学で統一されたProSec-X（Xは実務領域の名称）認定証を授与する。人材スキルマップを活用して、実務領域に求められる知識をコースに反映する仕組みや、e-Learning（JM00C/gacco等）を開発して事前学習の環境を整える。</p>		